

ソーシャル・ジャスティス基金 (SJF) 第3回 助成発表フォーラム 2015



【日時】 15年1月16日(金) 18:30-21:00 (開場 18:00)

【会場】 四谷地域センター・11階・集会室 2+3

東京都新宿区内藤町 87 (丸ノ内線・新宿御苑前駅 徒歩 5分)

【参加費】 無料

ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)は第3回助成先を14年9月に公募し、このたび最終的に4つの助成先を決定しました。この助成は、公正な社会を実現し希望ある未来を創造することを目的として、社会課題の原因を改善する新たな制度や仕組みを社会提案する市民のアドボカシー活動を、資金と社会対話の両面から支援するものです。

新たに助成対象となった事業は、今の日本がかかえる課題——重要にもかかわらず見過ごされがちな課題を、多様な切り口から提示しています。これら助成対象事業について発表するフォーラムを来年初に開催いたします。助成発表フォーラムは2部構成で、まず、助成先団体による事業発表や質疑応答により課題を共有いただき、続いて、今の社会情勢のなかで問われる社会正義とアドボカシー活動の役割について対話します。(裏面 詳細)

【申込み】 <https://socialjustice.jp/20150116.html> ※または、問合せ先まで。

【プログラム概要】

18 : 30 開会あいさつ・総評（上村英明・SJF 運営委員長）

18 : 40 第 1 部『第 3 回助成先の発表』

※助成先団体からの助成事業発表、質疑応答・対話

18 : 40 **生活保護問題対策全国会議** （担当 SJF 委員 = 辻利夫）

「生活保護基準の引下げを阻止するとともに生活保護の捕捉率 100%を目指す事業」

発表者 = 猪股正（弁護士/日弁連貧困問題対策本部前事務局長）

田川英信（元生活保護ケースワーカー）

19 : 00 **移住労働者と連帯する全国ネットワーク** （担当 SJF 委員 = 上村英明）

「大学・高校進学における外国人特別枠の設置・拡充にむけたアドボカシー」

発表者 = 稲葉奈々子（移住連 貧困プロジェクト）

19 : 20 **人身取引被害者サポートセンター ライトハウス**（担当 SJF 委員 = 土屋真美子）

「児童・青少年向け人身取引被害者のための専用サイト／アプリ開発プロジェクト」

発表者 = 古賀広宣（事務局長）・坂本新（ファンドレイジング担当）

19 : 40 **市民科学者国際会議** （担当 SJF 委員 = 大河内秀人／当日代理 = 佐々木貴子）

「放射線防護について情報・知見・取り組みを、市民と科学者が共有し、

共に次の一步を模索していくための第 5 回市民科学者国際会議の開催」

発表者 = 岩田渉（代表）

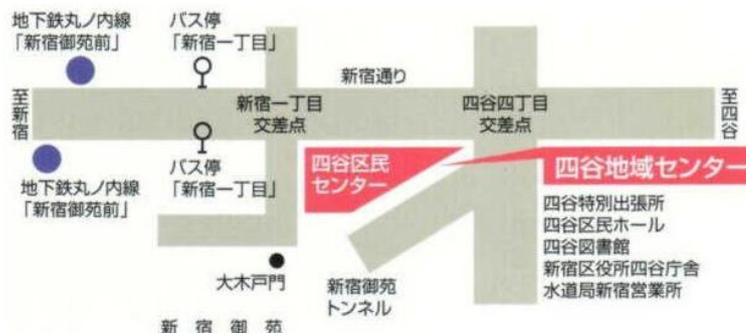
20 : 05 第 2 部 **対話交流会**：『今とめられる社会正義とアドボカシーとは

～ソーシャル・ジャスティス基金から見えてくるもの～』

20 : 55 閉会あいさつ（轟木洋子・SJF 審査委員）

※全体司会 = 樋口蓉子・SJF 運営副委員長

※会場地図



【主催・問合せ先】 ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)

〒160-0021 新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 501 認定 NPO 法人まちぽっと

電話 : 03-5941-7948 Fax : 03-3200-9250 メール : info@socialjustice.jp

ホームページ : <http://socialjustice.jp/>

